

第 1 回西予市総合計画審議会 会議録

1 開催日時 平成 27 年 3 月 25 日（水） 18 時 30 分～20 時 30 分

2 開催場所 西予市教育保健センター 4 階 大ホール

3 出席者 【委員】

井上照代委員、上原委員、宇都宮とみ子委員、大塚委員、小野委員、佐伯委員、佐藤委員、鷺津委員、今崎委員、源委員、清家委員、秋山委員、遠山委員、藤田委員、堀内委員、三好委員、井関委員、井上真季委員、宇都宮美由委員、岡崎委員、菊池委員、坂本委員、古本委員、本田委員、三宅委員、渡邊委員

【行政】

三好市長、大平企画財務部長、高橋企画調整課長、藤井企画調整課長補佐、企画調整課職員

4 議 事

- (1) 委員委嘱
- (2) 市長あいさつ
- (3) 委員等の紹介
- (4) 会長及び副会長の選出
- (5) 諮問
- (6) 審議会運営要領（案）等について
- (7) 総合計画基本理念（たたき台）説明
- (8) 部会審議

5 会議資料

- (1) 委員名簿
- (2) 西予市総合計画策定条例
- (3) 西予市総合計画審議会条例
- (4) 西予市総合計画審議会運営要領（案）
- (5) 総合計画と総合計画審議会の役割
- (6) 西予市の基本理念（たたき台）

【委員委嘱】

三好市長が、審議会委員代表の岡崎委員に委嘱状を交付

【市長あいさつ】

この度、西予市総合計画を策定するにあたり、多彩な分野の方々に委嘱をさせていただきました。委嘱を受けていただいた委員の皆様に心から御礼を申し上げます。現在、西予市は西予市総合計画「夢創造 せいよ21」を平成18年3月に策定いたしまして、それを進めているところですが、この3月で9年が経過しており、あと1年で10年の総合計画が終了することになります。市の総合計画というのは、市の計画の最上位になりますけれども地方自治法の中で以前は策定しなければならいということになっておりましたが、その策定義務がなくなりました。したがって、策定しなくてもかまわないということにもなるわけですが、西予市の場合は、総合計画は最上位の計画でありますから、それをしっかり策定して、住民の方にお見せをして、そしていろいろなことを発信していくことの根本にしたいということで、西予市総合計画策定条例を制定させていただいて、法的に最上位の計画であって、私たちは総合計画を策定しますよということを外向けにアピールをしているところであります。総合計画の中で、基本構想・基本計画・実施計画を構成することになっておりますが、その中の基本構想を作成するにあたりましては、総合計画審議会を設置しまして、総合計画審議会に諮問をしなければいけないことに条例上ではなっております。そういうことで、この審議会があるということを皆様方にご理解いただきたいと思います。

今、大きく日本あるいは地方が転換期を迎えようとしております。その一つは「人口減少」、「少子高齢化」の時代になって、それをどう考えていくかということになるかと思っております。またついこの前までは地方分権と言われており、地方は地方分権を獲得することによって自分達の権限を持とうとしてやってまいりましたが、それだけでは足りない。それは何かというと国が言っております「地方創生」だと思います。

またグローバル化の時代でありますから世界と地方が完全につながっております。それをどう理解をして、どうやっていくかということも大事になってくるのではないかと思います。それと私たちの目の前に迫る、南海トラフ等の大震災の問題、あるいはゲリラ豪雨が毎年襲ってくるような時代が変わってまいりました。こういった問題を私たちはどう受け止めて、総合計画の中でどう策定していくのか。これだけの多彩な皆様がいらっしゃいますのでお互い同士が真剣に考えていきたい。そのために私どもも市の中でプロジェクトチームを設置し、皆様方を支え、ご提案できるようなことをしていきたいし、皆様方もいろいろなご提案をいただき、今後10年間の方向性をしっかり見据えるような西予市の総合計画になりますようにご協力をいただきますよう心からお願いを申し上げまして、市長としてのごあいさつさせていただきます。

【委員等紹介】

事務局が出席委員を紹介し、委員紹介後に事務局を紹介

【会長及び副会長選出】

会長選出まで事務局が議事進行

本審議会の会長、副会長の選出については、西予市総合計画審議会条例第5条第2項において、会長は、委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が任命する。となっております。会長の選出につきまして、ご意見がございましたら挙手にてご発言をお願いいたします。

委 員：事務局一任との発言

事務局：事務局一任とのご意見がありましたでしょうか。

委 員：全委員の多数

事務局：事務局案として、愛媛大学教授の坂本世津夫様にお願いさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか？

委 員：拍手多数

事務局：拍手多数で会長を坂本委員にお願いさせていただきます。坂本会長、前方の会長席へ移動をお願いします。

事務局：会長が決まりましたので、会長からごあいさつをいただきます。

会 長：先ほど、会長に就任させていただきました坂本と申します。現在、愛媛大学社会連携推進機構の教授をしております。これからよろしくをお願いいたします。簡単に自己紹介をさせていただきます。私自身は昨年10月から愛媛大学の「地(知)の拠点整備事業」という形で愛媛大学にいまして、南予地域担当で南予地域の地方創生とそれからもう一つは大学と地域の連携をコーディネートする仕事に就いております。ちょうど1週間前に西予市に移住してまいりました。出身は高知ですが、もともと400年位前に龍澤寺等と関係があったことから、昔から西予市に住んでみたいと思っておりました。南予の地方創生と人材育成と同時に新しい地域づくりに関われたらと思っていたら、願いが叶ったような状況であります。

出身は高知ではありますが、これからここに居を構えて皆様と一緒に新しい10年間の基本構想を考えていきたいと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事を進めさせていただきます。まず副会長の任命に移らせていただきますが先ほど副会長は会長が任命することになっているということになっておりますので、私の方からご指名させていただきます。医師会・PTA・子育て等、様々な分野において、ご見識をお持ちであられます、樋口委員に任命させていただきます。

だきたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか？

委 員：拍手多数 承認

会 長：ここで樋口副会長から就任のごあいさつをいただきたいところではありましたが、本日、樋口副会長は欠席のため、副会長を樋口委員に任命させていただくことを私の方から、後日就任依頼をさせていただきます。

【諮問】

事務局：それでは、会長が決まりましたので、西予市審議会条例第2条により、三好市長から坂本会長に対して、審議会への諮問をさせていただきます。

市 長：西予市総合計画審議会議長 様

第2次西予市総合計画に係る、基本構想及び基本計画について、西予市総合計画策定条例第4条の規定により、貴審議会の意見を求めます。

（三好市長、マスコミ退席）

【審議会運営要領（案）等について】

会 長：審議会運営要領（案）等について、事務局の説明をお願いします。

事務局：配布資料により説明

会 長：審議会運営要領（案）等について、事務局から説明がありましたが質問等はないでしょうか。

委 員：委員は総合計画というものがどういったものかが分からない方もおられるので、現在の総合計画を配布いただきたい。

事務局：配布させていただく。現在の総合計画はコンサルに発注しているためにどこの町の名前をくっつけても成り立つような総合計画に残念ながらなっている。そのため、総合計画がこういうものだという風に捉えていただきたくないと思っている。最近、他市が作成したその地域にあった計画をイメージしている。どういうまちに10年後になりたいかというところを大きく捉えつつ、それを総合計画にどう落とし込んでいくかが重要である。

会 長：スケジュールはかなりタイトになり半年で合計5回の部会の開催をして、その結果を審議会に上げて、最終的には市長への答申を行うようになる。

資料3の審議会運営要領（案）について、専門部会の設置、審議は自由な発言をいただくため、原則的には非公開とするが、審議内容は後日、会議録で公開する。

審議会運営要領（案）、今後のスケジュール等につきまして、ご承認いただけますでしょうか。

委 員：審議会運営要領（案）について、承認。

【総合計画基本理念（たたき台）説明】

会 長：続きまして、総合計画理念（たたき台）について、事務局の説明をお願いします。

事務局：配布資料により説明

会 長：総合計画理念（たたき台）について、質問等ございませんでしょうか。

事務局：理念の補足説明をさせていただきます。理念とはまちをこういう風にしたいという構想を考えるための発想（発送）の原点と考えていただきたい。いきなり目的とか目標を考える前に我々はどういう発想法でまず考えていくべきかを決めていけば、同じ方向性で議論ができるのではないかと思う。いろいろな考えがあると思うが、同じような発想法で考えていただきたいため、総合計画理念（たたき台）を作成させていただいた。

事前にメールでの提出でも構わないので是非、活発なご意見をいただければと思っています。

会 長：総合計画理念（たたき台）について、ご意見ございませんでしょうか。

委 員：理念の中に「常に一步先行く」で「他自治体の先駆者として」とありますが、0から1をつくることは非常に難しく、逆に1から10にする方が簡単だと思う。常に先駆することいいが、素晴らしい事例を積極的に取り入れるという姿勢も大事なかなと思っている。先程、市長からグローバルというキーワードがありましたが、女性登用と平行で海外からの受け入れも世間では言われていることなので、そういった視点も必要なのではないかと思う。

会 長：理念というのは考え方であるし、これからつくろうとしている計画の具体的な内容を客観的に捉えたらこういう視点で考えていないといけないということが理念となる。他にこういう方法で考えたらいいという意見はございませんか。

委 員：基本理念の4つと西予綱領八策の関係が分からない。また基本理念で「常に危機感」とあるが、危機感からのスタートでいいのだろうかというのを漠然と思う。西予綱領八策だと「地域のたからを活用し」というポジティブなことが入っていて、前向きな気持ちから危機感に入っていく、危機の部分を総合的に解消していくのかと思っている。基本理念が危機感から入っているのが違和感がある。

事務局：0から1をつくるのは確かに難しい。この総合計画は職員が実行していくものになる。これまで新しいことにチャレンジしようとする職員はほとんどいなかった。そういう発想を変えていく想いを込めて、「常に一步先行く」自治体とさせていただいた。先進事例から学んで1から10にすることも構わないと思っている。もう一つは、失敗事例からより多くを学ぶということも非常に大事だと思っている。西予市の中でも失敗している事例はあると思うが、そういうことから、成功に導いていくことも大事だと思う。

基本理念と西予市綱領八策との関係について、どちらも構想を練るにあたっての土台と思っていただきたい。基本理念に関しては「発想」であり、「発想」を実現するためには改革を断行していかなければいけないということである。西予市綱領八策ですが、基本理念を踏まえうえて、基本構想作成に向けた考え方として提示させていただいた。

委員：西予市綱領八策の初めの七策は方法、最後の「生涯暮らせるまちづくり」というのが最終目的かと思った。ただ最終目的が「生涯暮らせるまちづくり」がピンとこない。これから総合計画を考えていく際に「最終目的が何なのか」をまず考える方がいいかと思う。

委員：基本理念は確かに大事なことばかりだと思う。合併して10年経過して私たちが住んでいる地域を見ても「常に危機感」が迫っている。それと高齢化が進んでおり、頑張ろうにも地域に力がないのが現実だと思う。それは小学校の閉校による不便さも伴ってきており、子供たちが将来どうなっていくのかという不安もあるし、しかしこれは人口が減っていく以上、やむを得ないことだと思っている。西予市綱領八策の中の「生涯暮らせるまちづくり」これを将来に向かって一番考えなければならないことではないかと思う。そのためにはどうするか。あまり難しいことばかり言っていると市民からはいい案は出てこないと思っているので、普段の生活の中で実際こういうことに困っている、あるいはこういうことをして欲しいという市民の方のいろいろな意見もくみ上げながらこの審議会という組織を運営していかないと、市民の声は置き去りにされる可能性があるので、私たちも気を付けて会議に参加しなければならないと思っている。

委員：西予市綱領八策の中に教育、観光振興、産業の振興等はあるが、今直面している「高齢化」、「障がい者」、「子育て」等の問題をもっと取り入れて欲しい。

委員：この審議会で答申をしたことをその後、職員がどう扱うかが一番の問題だと思う。最終的には職員が答申をどう評価し、どう生かすかにかかってくる。これまでは、既成事実をつくるがための審議会も多く、意見を出しても担保されないことが多かった。斬新な意見や変わった意見を取り上げてもらうのも「一步先行く」ことでもあるし、将来の面白いアイデアも持っている。今までの優等生のような意見では将来のまちづくりはできない。是非、職員で答申を有効に活用していただきたい。

事務局：総合計画は市の最上位計画なので、ここに集まっていた委員の方の英知を溶け込ませて、しっかりと計画にしていきたい。審議会の中には市民の方だけではなく、大学の教授等市外の方も参加していただいております、様々な角度からいろいろな意見を取り入れていきたいと思っている。理念の中にもあるように「一步先行く」は市役所の職員が考えたものだけではなく、さらに幅広く、変わったことを取り入れることが大事だと思っている。

審議会の答申の担保については、現在の総合計画が担保されているのかという
と担保されていないところが一部ある。抽象的すぎてスローガンだけの総合計画
では意味がなくなる。そういったところを忌憚なくご意見を頂戴したい。

ただ、総合計画は憲法ではないため、時間が経過していく中で見直していかな
ければいけないことが当然発生してくる。その際は十分議論して変更していかな
ければいけないと思っている。

会 長：基本理念はあくまでもたたき台で今後、基本構想は各部会において審議してい
ただくようにしている。このたたき台を基本として、これから各部会、審議会で
具体的なものを作り上げていくことになる。

西予市の今後の方向性を示すことばをしっかりと決めていただかないといけ
ない。それをまず各部会で検討いただき、どういう方向性を出して実現するのか
をこれから具体的な作業をお願いしたい。

【部会審議】

各部会で部会長及び副部会長を選出

今後のスケジュールの決定

部会の進め方等の説明